



同窓会の愛称が「晩登会」に決まった。併せて、会報の題字も本号から「晩登会報」に変えた。この春卒業した3年生が新しく同窓生になった。会報に同窓会への期待・要望・後輩への一言を盛り込む紙面をシリーズ化していく。若い会員から先輩会員まで幅広く、親しまれる会報にしていきたい。

◀母校正面玄関の絵画作品
「おだやかな午後」
(2013日展入選 100号)
S44 佐伯恵美子さん寄贈

No. 52



晩登会報

鳥取中央育英高校同窓会報
題字は山田美鈴氏(S58年卒)

2021年4月1日
発行：同窓会編集委員会
電話 0858-37-3211

題字変更。「晩登会報」へ!

この春の母校の入学試験倍率は普通0・51、体育0・55で、大きく定員割れした。これほどの低倍率は過去にない。新聞発表の朝、この数字に目を疑い、何人もの同窓生からも「どうして?」と驚きと困惑の電話をいただいた。大幅な定員割れが続けば、どのような事態を招くか、想像するだに恐ろしい。わが同窓会は「会員相互の親睦をはかり、会員および母校の発展を期することを目的とする」(会則)とうたっている。学校側と一致団結して、この危機から一日も早く脱出しなければならぬ。

原因は恐らく一つではないだろう。数年前から指摘がある県中部から東部、西部への生徒流出問題も底流にあるかもしれない。だが、最も重要なのは、受験する中学生やその保護者の目に、母校が魅力的な学校として写っていないのではないかと、という視点からの総点検ではなからうか。それを踏まえて、同窓会が、そして学校が、いま何をなすべきか。出来ることはいくつあるはずだ。具体的な取り組み、活動をすぐに始めよう。

巻頭言

競争率0・51の衝撃

同窓会長 佐伯 健二



克己

他に勝たんと欲する者は、須らく先ず克己の勇氣を興起すべし。己に克つことを得ざる薄志弱行の徒は、安くんぞ能く他に勝つことを得んや。苟くも本校に就学する者は、緊禪一番、常に斯の氣を鼓舞振作することを要す。
昭和丁丑秋日
八十二翁

八十二翁

晩登書

(創立者 豊田太蔵先生の遺訓による)

いくえい
を歩く

正門から
校舎への道



いづつか桜が満開の頃に、友人達と話し合いながらこの道を歩き、懐かしさに浸りたい。(斎尾)

育英を巣立つてから、早22年。学校へは何度か出向いたことはあったが、日が落ちた時間帯に正門から校舎へと続く道を、自分の足で歩くのは卒業後初めてである。体育の授業で走り回ったグラウンド。新聞部の自分は使用することのなかった運動部の部室。毎日自転車を押めていた自転車小屋。そして自転車を押しながら友人達と挨拶を交わしたり、談笑しながら歩いた桜並木の道。坂道を上った先に広がる光景は、自分の記憶と何も変わらない。いや、さすがに全く変わっていないことはないだろうが、一瞬で在校当時の記憶を甦えらせ、空気を肌で感じるほど、違いが分からなかった。昨今は、OBとはいえ防犯上、気軽に敷地を歩くことは出来なくなってしまうが、いつか桜が満開の頃に、友人達と話し合いながらこの道を歩き、懐かしさに浸りたい。(斎尾)

同窓会「晩登塾」は、記念冊子『晩登塾』の歩みとその記憶もつひとつの『ばんとう』を発行した。塾の存在は同窓生でも知らない人が多く、この記念冊子によって初めてその姿が明らかになった。

「晩登塾」記念冊子刊行

晩登塾は、志や勉学の意欲があつても経済的な理由で進学困難な母校卒業生のために、創立者の豊田太蔵・収父子が東京に開いた学生寮。1917 (大正6) 年に開設され、1985 (昭和60) 年、68年に及ぶ歴史の幕を閉じた。この間、約130人が入寮し、それぞれが力強く自らの未来を切り開いていった。

晩登塾OB有志 (戸田通昭さん、S34 (1959年)) が資料がほとんど残っていない中で苦勞し、2年かけて完成させた。A4判72頁。開設の歴史資料や、原宿・江古田・清瀬へ移転した寮で暮らした当時の寮生が思い出を綴った。

小説『ばんとう』を著した小説家、松本薫さんも書き下ろし原稿を寄せた。300部発行。県内学校や図書館のほか同窓会活動協力金高額寄付者にも配布された。

3月2日、佐伯健二

会長と事務局の永代浩孝先生が県教育委員会に山本仁志教育長を訪ね、発行を報告。

山本教育長は「育英」の理念を、後世に引き継ぎ、これからの生徒たちにも伝えていくという思いで発刊された同窓生の方々に敬意を表します」とねぎらった。



「山本県教育長(右)に報告する佐伯会長(中央)と永代先生(左)」

塾生の思い出

懐かしい記憶



田中 穰 (S51)

2年間お世話になり、ありがとうございました。当時、十数名の方がおられました。山根、磯江、吉田、横濱諸先輩、同級生の宮脇君、中本君、後輩の稲毛君。また、古参の伝説の先輩がいたと記憶してい

ます。忘れていた過去にタイムスリップさせてもらいました。清瀬駅から晩登塾まで遠い夜道を帰る途中、後ろから人の気配を感じました。振り返ると若い女性が寄ってきて腕を絡めてきました。びっくりしましたがそのまま2人で暗い夜道を帰りました。ほとんど無言のままで名前も理由も聞くことはありませんでした。若い女性には縁のない私でしたが、ひと時の淡い青春の思い出として心に残っています。

(琴浦町逢束)



竹森 毅 (S46)

強く記憶に残っています。

寮費を集金し、銀座の国会議員 (西村尚治参議院議員) 邸まで持参したことがあります。昼食をごちそうになり、そのあと初めての銀座をぶらぶらした記憶です。

私は晩登塾のことを学生時代や社会人になってからも、出会った多くの人に、自分にはこんな宝物があると話してききました。

(琴浦町赤碕)



晩登塾は宝物
清瀬時代、新築の晩登塾で4年間、お世話になりました。私の思い出の一つは、地域草野球に参加し、寮の庭や近くの広場で楽しく練習したこと。試合の日、霞が関 (通産省) 勤務の先輩、大久保さんに「KANBO」のユニフォームを手配していただいたことが

鳥取弁で語り合った



佐藤隆治 (S54)

私は、大学の基礎課程の一年間が都外であつたため晩登塾へ入つたのは、2年生からの3年間 (昭和57・59年) でした。もちろん家賃は無く、親に負担をかけたくない気持ちもあり、またひと足先に入っていた友人からの誘いもあり迷わず入塾しました。

今というシェアハウスのような形態で部屋は個々に仕切られていましたが、バス、トイレ、倉庫、物置は共同でした。自治会という名のもと、毎月1回、豊田さんを交えて掃除当番の確認、塾生活での注意点、反省点などを話し合っていました。すべての塾生が由良育英高校のOBのため、先輩、後輩を問わず各部屋で皆が酒を飲みかわし、夜更けまで鳥取弁で語り合ったことが思い出されます。

(倉吉市虹ヶ丘)

きょうから同窓生 今春卒業のフレッシュマン

①同窓会への期待、要望
②後輩への一言

ビンゴ大会いかも

小椋光貴 (3A)



①同窓会ではビンゴ大会など企画があると参加しやすい。

②スポーツだけでなく勉強にも力を入れて頑張ってください。皆さん高校生活を楽しんでください！

焼肉、バイキングも！

千石顕正 (3A)



①焼肉やバイキングなどの美味しい料理があるといい。

②文武両道を目標に頑張ってください。部活動などの後輩を大切にしてください。

担任の先生をご招待

永田結梨弥 (3B)



①会食など美味しい料理を食べながら、担任の先生を招いてお話をしたい。

②勉強や部活で大変なこともたくさんあると思いますが、きっと自分の土台になると思うので精一杯がんばってください。

先生からのひと言企画も

平岩里奈 (3B)



①記念撮影や会食、高校生活を振り返り当時の先生からひと言など企画したい。

②勉強、部活、行事など今しか経験できないことに全力で取り組みんだり、楽しんで思い出に残る学校生活を送ってほしいです。大変だったり、嫌なことになったり、いつか絶対自分の力や自信につながついていくと思ってい進んでください。応援しています！

来年にでもすぐに開催

堀本龍治 (3C)



①ご飯を食べながら担任の先生を囲んで、来年にでもすぐに同窓会をやりたい。

②勉強や部活で大変だと思うけど、3年間はすぐだったので、悔いのないようがんばってください！進路については、なるべく早く決めた方がいいと思います。また、地域探索では皆さんの能力を鍛えることができるので、ぜひ本気で取り組んでみてください。

担任の先生を呼びたい

谷口幸太 (3C)



①クラス会、総会など担任だった先生を呼んで行きたい。

②夢を持ち、目標を持って、信念をもってがんばってください。できると思ったらできるし、できないと思ったらできません。絶対やるんだ、とい

う強い気持ちで頑張ってください。

集まりやすい企画を

権田 龍 (3D)



①みんなが大人になつて集まりやすい同窓会となるよう、色々な企画を準備したい。

②後輩のみんなが、自分の決めた進路に向かって努力してほしいと思います。

必ず開くので楽しみに

深田健大 (3D)



①育英を卒業してしまえばみんなと会う機会はすごく減ると思うので、数年に何度かの同窓会やクラス会を必ず開きますので楽しみにしてください。

②校則を守った生活をしていきましょう。また、部活と学習の両立は大変だと思いますが、どちらかがおろそかにならないようにして頑張ってください。

同窓会本部 支部連絡先

近くの支部へ連絡を取って仲間に入ってください。

▷本部	(佐伯健二会長)	北栄町由良宿291-1、鳥取中央育英高校内	☎0858 (37) 3211
▷関東支部	(木村由紀雄支部長)	千葉県流山市東深井885-39、染川方	☎047 (153) 7596
▷関西支部	(竹本紀穂支部長)	向日市上植野町地後13-1-601、山下方	☎075 (935) 0053
▷倉吉支部	(横山尚登支部長)	倉吉市福庭町1丁目532-16	☎0858 (23) 9434
▷三朝支部	(中信貴美代支部長)	東伯郡三朝町思地217	☎0858 (43) 1098
▷東郷支部	(山田政則支部長)	東伯郡湯梨浜町藤津214-6	☎0858 (32) 1672
▷大栄支部	(田中精一支部等)	東伯郡北栄町由良宿175-1	☎0858 (37) 3751
▷東伯支部	(伊藤喬支部長)	東伯郡琴浦町下伊勢527-4	☎0858 (52) 2532
▷赤碕支部	(宇田川隆良支部長)	東伯郡琴浦町赤碕1923-8	☎0858 (55) 0604
▷西部支部	(金田健司支部長)	米子市上福原1373-8	☎0859 (32) 9103

支部めぐり

(1)

関西支部

関西支部が開設されて、52年目になります。同窓会の先輩の皆様が、コツコツ努力して築いて来られた交流の場・懇親の場が、コロナ禍のため昨年は休止を余儀なくされました。今年こそは開催を希望は持っています。

すが、むずかしい判断となりそうです。関西支部には、2つの事業があります。1つは、6月の第1日曜日に開催される定期総会・懇親会です。約50名の同窓会員が集まります。

同窓生の中には、一芸をお持ちの方も多く、その特技を披露し、会を盛り上げていただいています。カメラを趣味としておられるS37年卒の吉田崇さんには、集合写真やスナップ写真を

段、めったに見ることのない、「踊り」や着物姿に感動をしました。

S37年卒の前田正道さんには、トランペットの演奏をしていただきました。育英高のブラズバンド部時代、1964年の東京オリンピックのファンファーレ要員に合格され、近年まで自衛隊音楽隊の一員として西日本を演奏して回っておられたそうです。生で聞く「上を向いて歩こう」や

総会で特技を披露

撮っていただき、ハーマニカが趣味のS25年卒の井原博之さんには、応援歌「角磐山」の伴奏をしていただいたりしています。

第50回記念の際には、S28年卒の田中静穂さんには、日本舞踊「寿」を踊っていただきました。平成4年から習い始めて現在「大阪文の里民謡会」の指導講師として、指導・育成に尽力されているとのこと。普

「知床旅情」は、圧巻でした。

そして、S36年卒の小林延義さんには、薩摩琵琶の演奏をしていただきました。50歳を前にして琵琶の演奏に目覚め、細心流薩摩琵琶全国一水会に所属され、教師として国立文楽劇場や京都祇園等で演奏されているそうです。演奏曲目は、あの忠臣蔵でおなじみの「松の廊下」でした。普段あまり聞かない音楽を聴き、新鮮な感じを受けました。

趣味・特技など研鑽されている方は、まだまだたくさんおられるだろうと感じています。絵画、工作・写真・俳句・短歌など「一日だけの発表会」なら準備できそうな気がしています。



琵琶演奏する小林延義さん

もう一つは、応援事業です。京都で毎年暮れに開催される全国高校駅伝大会に出場する母校の出場選手を応援するため、12月に「激励会」を開催してきました。鳥取県関西支部の皆さんはもろろのこと、北栄町長にも出席していただきました。

毎回、S34卒の今西玉江さんが、ピョンピョン飛ばして前に進むようにと、「ウサギのパン」を選手一人一人に作っていただき贈呈してきました。諸先輩の思いやりをいつも感じてきました。

育英同窓会の甲子園熱は熱く、一昨年、野球部のOBマスターズ甲子園の2回目の出場に際し、応援に会場へ駆け付けました。今後も、現役・OBに関わらず、甲子園で大きな声で「角盤山」を歌ってみたいという希望を持っています。

同窓会関西支部として、行き届かないところが、まだまだありますが、支部会員の交流促進の一助となるような活動を心がけていきたいと思っています。

(支部長 竹本紀穂)

学年の動き



篠原重義 (S44)

コロナ収束の折には！

卒業30年目の年に、同窓会総会に幹事学年として初めて関わった。これを機にクラス会から学年同窓会へと意識が広がり、その後、3回の学年同窓会を実施した。各クラスより選出された数名の世話人に企画・準備・進行を委ね開催している。

1回目は53歳の年に大栄のAコップで行った。学年開催のせいか開会直後は、こわばった表情の友が多く、あまり話の弾まないテーブルもあったことを覚えている。2回目は還暦祝賀同窓会として1泊で三朝温泉「溪泉閣」で開催。百十数名が参集し、大いに盛り上がった。

3回目は、古希祝賀同窓会の中間時点、65歳の時に「石見会館」で行った。クラスの枠は徐々に緩んできた。昨年4回目と目していた古希祝賀同窓会は、コロナ感染拡大により世話人会の席で延期を決した。

だが、何歳になろうともコロナが収束した折には「古希祝賀同窓会」を実施する想いである。その次の「喜寿祝賀」を見据えて！旧友が一堂に会し時を共有することは、共に歳を重ねたことへ相互の祝福と、個々の人生観に共感しつつ至福の瞬(とき)となる。次の学年同窓会は新たな指標となる。

(S44学年同窓会事務局)

全国高校駅伝選手激励会 (2015年12月)



テニスで集う「さぶろう会」



西原 信男

(湯梨浜町)

軟式テニス部に在籍した昭和50から53年卒業の部員が、毎年8月に湯梨浜町の夢広場テニスコートに県内外から集い、交流試合で盛り上がっています。この会の名称は「さぶろう会」。

当時のテニス部顧問・穂近三郎先生(S35年卒)の名前からの命名です。昨年はコロナ禍のため初めて中止となりましたが、平成15年から17回連続で開催。先生にも毎年元氣にご出席いただいています。

試合が始まると全員が高校時代にタイムスリップ。往年の名プレーに酔い、迷(珍)プレーに爆笑しています。我々も還暦を過ぎ足腰の衰えもあり、今では3人テニス(3対3)です。

慰労会はさらにヒートアップ(昨年は中止)。高校時代の部活動を通じて、皆さんとこのような出会いをいただき、ありがたく感謝しています。ことしは倍返しで開催出来ればと思っています。

大人の社会塾 熱中小



小松 弘明

(琴浦町)

高校時代にあまり勉強をしなかった反省から、町で始まった

「とっとり琴浦熱中小学校」に通っています。これは全国の各地域で開催されている学校ですが、大人の社会塾として毎月第4土曜日の午後各界の一流の講師をお招きし、約1時間のお話を聞き交流する学校です。

単なる講演会とは少々異なり、自らが学びたいと考える大人が集い、夜の交流会も含め今までの経験を振り返りながら、新たな取り組みを自らが考える切っ掛けづくりを目標としています。

この学校の校長先生は、竹歳誠(元国土交通省事務次官)氏ですが、校長は我母校の創設者豊田太蔵先生のひ孫になる方でもあります。

興味のある方は4月からの第5期の募集中ですので、ぜひ一緒に学びましょう。

あきらめの悪い性格



河崎 積

(北栄町)

オリンピック

イヤーに開催し

てきた51年卒業同級会。次回代表幹事の指名を受け、幹事団メンバーと開催準備に入ったのに、昨年のコロナ禍で止む無く延期。今年こそと思いつつ、ワクチン接種状況を見ながら、もう一年延期に悩む毎日です。でも不思議に心が折れない。諦めなければ必ず開催出来る

信じているからです。社会に出て多くの困難がありましたが、諦めない心で乗り切れました。始まりは、高校最後の学園祭。異例の有志による自主開催。前夜祭実行委員長として睡眠不足の中、全員で合唱した「イエスタデイ」が今でも忘れられない。私の諦めの悪い性格は、この時から始まりました。同級会必ず開きます。みんな参加してね。

人物風土記(7)

S51 由良育英の巻

※今回のまとめ:本庄克則氏

懐かしい担任のO先生



向陽 寛孝

(大山町)

高校時代の一番の思い出とい

えば、3年時の昭和50年7月8日、担任のO先生に悪戯をしたことです。体育の授業で水泳をしていた時のことでした。担任のO先生はプールの飛び込み台の上で、体育座りで授業参観をしておられました。

私とT君は思わず目と目が合い(テレパシーで「落とそう」とお互いが思ったのかも?)、私が潜って近づき、O先生の両

足を両手で掴み、T君が後ろから背中を押したので、O先生はプールの中へ真つ逆様。胸のポケットに入っていたハイライト(当時80円)が、プカプカ浮いていました。その日の終礼時に、O先生は怒ることも無く、寛大な態度で私たちを諭してくださったことが、懐かしく思い出されます。

大学4年時の昭和54年6月、新築したばかりの新校舎で、教育実習をさせていただきました。担当の先生は、あのO先生でした。熱心に指導してくださったお蔭で、実習を無事に終えることが出来ました。

大学卒業後、家業である僧侶になるために大本山永平寺で修行。その後、28年間私学の某高校で教職に就き、現在は退職して、住職として檀務に勤しんでいます。

どう生きたかが大切



秋山 英正

(北栄町)

コロナ禍で始まり、コロナ禍で終わった令和2年。家庭の事情もあり友人と会う機会もめつさり少なくなりました。また計画されていた同級会も延期となり、寂しい限りです。

昨年は身内や親族、知り合いが相次いで亡くなることがあり、「人生って何だろうか?」

と考えることが多くなりました。楽しく笑うことも少なくなり、つまらない日々と思うこともたびたびです。そんな中こう考えるようになりました。「どう人生を終(しま)うかではなく、どう生きたかが大切」と。定年後の人生、地元で積極的に関わっていききたいと思っています。そして農業でも新しい品目・技術改良にチャレンジしようと計画しています。

お稽古の最中

石原 修子(旧姓・永田)

(倉吉市)

桜の咲き方が美しい高校でした。当時は、何はともあれの健康や不得手を勉強のために、登校することに不思議のかけらもなく、また昨今のように多様な世界に進歩するとは想像できずに、高校生活を楽しんでいたように思います。

現在は青谷上寺地遺跡に関わる仕事についていますが、弥生の遺物に触れる度に、その意識のあり方に感激等々のいろいろな経験や周りの人との繋がりを喜びながら、一日一日のラジオ体操に励んでいます。

コロナ禍の暮らしは、お約束が沢山あって心持ちの休まる時が少なくなりましたが、これも「おけいこ」と思います。そう、まだまだお稽古の最中でありま

これからも精進

私が卒業してから間もなく30年が経とうとしています。あつという間に過ぎたという印象です。

当時の仲間とは就職や進学を機に離れ離れになりましたが、しばらくの間は帰省のたびに集まり、近況報告や将来についての話などしていたのをはつきりと覚えています。

私は大阪から帰鳥後は旅館に勤務し30代後半からは責任者としての経験を積ませていただき、現在はJA共済連鳥取に勤務しております。



松原圭一郎
(H4)

ます。偶然にも由良育英で同級生だった友人が上司という驚きもありましたが、今までの経験を活かして頑張っています。

由良育英という名前はなくなりましたがテレビや新聞で母校の名前が出るとお世話になった先生方や友人を思い出します。近年SNSを通して、担任だった杉本先生と連絡を取ることも出来ました。

コロナ禍で大変な世の中でありますが、これからの様々なことを吸収し、由良育英卒業生として恥じないよう精進して参りたいと思います。

(倉吉市福庭)

新校舎を見てみたい



丸山幸則
(S51)

卒業してから45年が経ちました。私は高校時代に庭球部に所属していました。20年ぐらい前から、毎年8月13日に

晩登塾の思い出



横浜郁生
(S48)

晩登塾に昭和49年3月下旬から入塾しました。当時、1年生は2人部屋からだったのですが、なぜか1人部屋でした。1年生では、お決まりの新入生の歓迎会が開催された。春のハイキングのようなものがあつて三浦半島の方にいったりしました。

清瀬市主催の軟式野球大会に出場した記憶があります。それも勝敗よりも、ユニホームについて。先輩が勤務されている「通産省」に行き、

当時の部活仲間との交流があります。地元にいる同級生たち(後輩含む)が準備してくれま。本当にありがたいです。

昼の部は、顧問の穂近三郎先生をはじめ十数人が集合して試合をします。昔はダブルスでした。昔はダブルスから3対3で試合をしています、その理由は現役プレー

なんと胸に「KANBO」(官房)と書いてあるものを借りてきての出場だったのです。

2年生になって、新入生との2人部屋となりました。お互いに相手を思いやっていたのかトラブルも無く1年間で過ぎました。それから、また1人部屋です。4年生まで同じ部屋のままです。

晩登塾での生活を思い出すと、基本自炊と言いたところですが、自炊経験がたいしてありません。したがって、インスタント食品や缶詰のお世話になることが多く、お金がある時は外食で済ますこともありました。たまにですが、近所の店(パン屋?)で買い物をしていると、店の方がカレーや煮物をたくさん

ヤーは数人いるのですが、運動をしていない10人以上は、5歩以上動けないからです。

夜の部は宴会です。宴会のみ参加の女子は見事に化けてきます。コロナ禍で去年は中止となりましたが、みんな元気かな?

最後に、卒業してから建て替わった新校舎を見てみたい。

(姫路市)

作つたので、差し入れをして助けてもらっていたのが懐かしいです。

同時期にいた塾生のみなさんは個性的で、何年住んでおられるのかと思うような主(ぬし)的な人や、部屋の中が足の踏み場も無いような人、宴会で酒を水のように飲む人(後が大変でしたが)など、いろいろな人に出会うことができました。

わずか4年間の生活でしたが、今思うと貴重な経験をさせてもらった晩登塾での生活でした。今でもその時の同級生と親交があるのは、まさに人生の宝物に出会ったということでしょうか。

(北栄町江北)

学園祭の充実感いまも



前田知也
(H3)

私は実家の農業を継承しています。就農に至るまでに色々まわり道をしたのですが、何より自分自身の裁量で経営判断や作業が進められることに魅力を感じ、決意しました。高校時代には農業なんて考えもしなかったことなんです。

実際に就農してみると、毎日が問題。不具合の連続で、思い通りに事が進むなんてほとんどありません。でも、ごくたまにですけれど上手くいった時の充実感言葉では言い表わせないものがあります。

高校時代のことで一番印象に残っているのは、3年の時に学園祭の実行委員を経験したこと。学園祭の最後、野球場での後夜祭。クライマックスで打ち上げ花火のサプライズ敢行。予算の関係で数発しか発注できませんでしたが、とても感動的なものでした。苦労が全て霧消したあの爽快感。あんな充実感をまた得たいから、今日も頑張れるのかもしれない。

(琴浦町中尾)

会員は今、東から西から

西から東から、会員は今

子どもたちに囲まれて

学生時代の思い出として、育英祭や強歩大会、ソフトボール部でチームで頑張ったこと、大切な仲間と出会えたことは、私の宝物です。

現在、私は琴浦町内のこ



前田直美 (H4)

ども園に勤務しています。以前は町内に保育園と幼稚園がありましたが、社会情勢やニーズの変化と共に、教育・保育を一体的に行う幼保連携型認定こども園に変わりました。そのこども園で子どもたちの心身の発達と生きる力の基礎を育んでいます。今も常に幼児教育の研修をし、学びながら保育の工夫を考える毎日です。

嬉しく思っています。毎年卒園式をして子どもたちを見送りますが、何年後かに「先生！」と、さらに成長した子どもたちに出会うのも嬉しいものです。これから人も人との出会いと繋がりを大切に頑張っていきたいと思っています。

(琴浦町森藤)

方との出会いがありました。町内の園で働くことにより、船上山登山や海遊び・施設見学や遠足などを通して、地域の良さを再発見します。そして、子どもたちと体験を共有しながら地域の良さを伝えていきます。

自然の中で遊び、プール遊びやリズム遊びをし、運動会や生活発表会に取り組み、生活や遊びの中で、子どもたちの成長に関わる事ができます。

春、サクラ



田中 肇 (S50)

正門から校舎に向けて延びる並木。入学の緊張か、それとも花木に興味がなかったのか、それが桜木だと気付いたのは数日

後の開花だった。この美しさに魅せられ、僕の春の恒例行事である昼休憩の花見は卒業まで3年間続いた。グラウンドを囲むように植えられた桜の下が僕の特等席。春の陽光が気持ち良く、母が作ってくれた弁当を食べながら桜を眺めた。昭和、平成、令和と時は流れ、学んだ校舎はなくなり、JR線

路の南へ移転した。卒業以来、正門の桜並木もグラウンドの桜も特段意識したことはない。でも、僕にとって「春」といえば定番はこれ。キャンディーズの「春一番」でも福山雅治の「桜坂」でもなく、由良育英で歌った「春繚乱の桜花」という一節。何故か思い浮かぶ。

(琴浦町徳万)

「始めること」

73歳からのライダー

井上英明 (S41)

聡明なる諸氏と違って知識不足、運動不足である。というより出来なかった。10代からそうだった。しかし、考え次第である。「しなかった」のである。始めること、続けること。これでレベルはどうあれ、「出来る」を楽しむことが出来る。

30代で目覚めるセーリングヨット。40代で趣味の農業。50



代でパラグライダーにのめりこむ。60代で写真。70歳で絵画等、と始めて来た。73歳に至ってロードバイクが面白い。だが、何歳まで続けることが出来るのか。問題は何を求めるかだ。今更、体力向上は望めないけど、新しいものを探す、知ることほできそう。

(北栄町松神)

動静

県文化功労賞受賞

山本竜門さん (S34)

仏師の山本竜門さん(本名・紀康)が本年度の鳥取県文化功労賞を昨年11月に受賞されました。

山本さんは、京仏師伝統の仏像と円空・木喰(も

存させながら、永年にわたつ

れました。

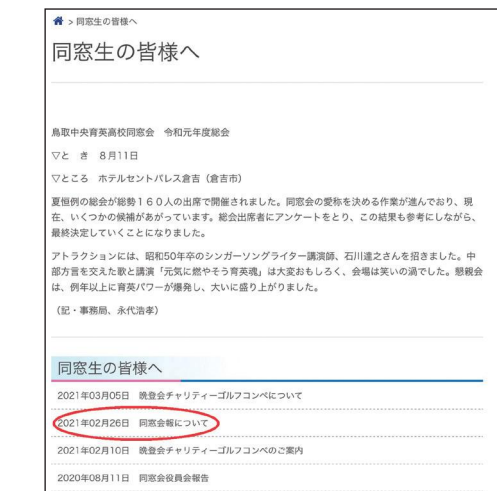
くじき)風の2種の仏像を併て制作活動に励んでおられます。

この賞は県が2003年度から設けており、表彰式では平井伸治知事から表彰状が贈呈さ

HPから読む方法



(1) 最初に、パソコンやスマホ、タブレットの検索機能を使って「鳥取中央育英高校」のホームページを開きます。右上に「同窓生の皆様へ」(赤字で丸囲い)と書かれたところをマウスでクリック(スマホの場合は軽く指で叩きタップ)します。



(2) 「同窓生の皆様へ」のページが開くと、下の方に「同窓会報について」(赤字で丸囲い)と書かれたところがあります。ここをクリック、あるいはタップします。



(3) そうすると「同窓会報について」のページが開きます。下の方に「同窓会報51号縮小」(赤字で丸囲い)と書かれたところがありますので、ここをクリック、あるいはタップすると、同窓会報 (No. 51) が出てきて、1ページから12ページまでご覧になれます。4月以降は、1日付発行の「No.52」ははじめ最新号を常時アップいたします。

ホームページから読める

最新の同窓会報 デジタル化の第一歩

同窓会は愛称を「晩登会」に決めたのを機会に、同窓会報を今号 (No.52) から学校ホームページ (HP) からご覧いただけるようにしました。従来通り、郵送をご希望の方には対応します。同窓会報は2千5百部から3千部発行し、会員と会員、会員と学校をつなぐ大きな役割を果たしています。ホームページにアップすることにより、同窓会報がさらに同窓生の中に大きく広がっていくことを期待しています。(事務局)



もう一つの方法

スマホの「QRコード」アプリ (下①) を使って、上のQRコードを読み取ってください。次に、起動するアプリ (下②) を選択すると、「同窓生の皆様へ」のページが出てきます。後の操作は、左上説明の (2) と (3) と同じです。



① QRコード



② 起動するアプリ



【問い合わせ先】
 ☎ 0858 (37) 3211
 FAX 0858 (37) 3212
 事務局：入江 翠

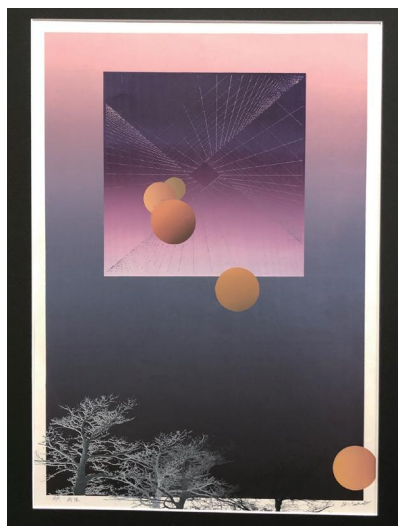
活動協力金寄付のお願い

▽協力金は一口2,000円
 ▼郵便振替払い込み用紙による入金
 か、口座番号01360(4)10061 鳥取県立鳥取中央育英高等学校同窓会へ振り込む。
 ▼あるいは学校事務局窓口へ直接お持ちいただく。

緑ヶ丘ギャラリー

昨年秋の鳥取県美術展（会場：米子市美術館）で、同窓生の作品を見つけました。ご紹介します。
※同窓生作品の一部です。

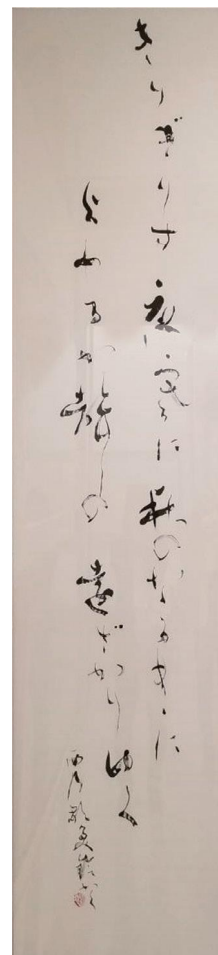
会員の作品



版画「再生」
坂田秀樹さん (S44)



彫刻「水の詩」
永江靖幸さん (S61)



書「西行歌」
山田美鈴さん (S58)



彫刻「小さな海」
山内 信さん (S48)



写真「脇役動く」
井上英明さん (S41)

昨秋以降

2020部活

陸上部

□県高校駅伝(11月1日、布勢陸上競技場)

▽男子=⑤2時間19分26秒▽女子=②1時間18分06秒

□中国高校駅伝(11月22日、山口きらら博公園)

▽男子=②⑥2時間19分23秒(北尾風馬、鳥越淳志、門積正汰、南征憲、表響希、阿弓湧雅、三浦永遠)▽女子=⑤1時間17分09秒(長石知佳、岩崎琴音、前田愛菜、遠藤もも、鷺見 萌)

レスリング

□中国選抜大会(1月29日~30日 新型コロナウイルス感染症対策のため中止)各県優勝者が全国選抜大会に出場

▽団体出場▽個人出場者=51kg級 渡部琉海、55kg級 鳥目裕太、65kg級 磯上遥也 92kg級 磯江大成

バレーボール部男子

□全日本バレーボール高校選手権大会鳥取県予選(11月14、15日)

▽優勝

□全日本バレーボール高校選手権大会(1月5日、東京体育館)

▽1回戦=鳥取育英0-2恵庭南(北海道代表)

□鳥取県高等学校新人バレーボール大会

(1月16、17日 鳥取育英高体育館)

▽優勝

□中国高等学校新人バレーボール大会

(2月13日、広島市安佐北区スポーツセンター)

▽5位

ソフトボール

□中国高等学校ソフトボール新人大会(11月14日、鳥取)

▽1回戦=育英2-15安来(島根)

山岳部

□SCJT 2020 リード第2戦・スピード第3戦 西条市大亀カップ・クライミング大会(11月7、8日)

▽男子リード=③⑩高眞颯太▽女子リード=③⑦秦野由羽▽女子スピード=②林かりん



鳥取育英8年ぶりV

中国高等学校新人水球大会
鳥取育英8年ぶりV
鳥取育英は、中国の東部地方、山東省の青島市にある青島市立第一高級中等学校と対戦し、2-1で勝利を収めた。この勝利は、鳥取育英が8年ぶりに中国高等学校新人水球大会で優勝したことになる。大会は、11月7日(土)に青島市立第一高級中等学校で開催された。鳥取育英は、前半から積極的に攻め、前半終了時点で1-0のリードを築いていた。後半は、相手の守りが厳しくなり、得点の機会が減少したが、後半終了時点で2-1のリードを維持していた。最終的に、鳥取育英は2-1で勝利を収めた。この勝利は、鳥取育英が8年ぶりに中国高等学校新人水球大会で優勝したことになる。

▲2020年11月7日(土)

日本海新聞

水球V

美術部

□近畿高等学校総合文化祭奈良大会(Web開催)

▽出品作「カナ出る♪」=長谷川万桜、前美里

新聞部

□第24回全国高校新聞年間紙面審査

▽奨励賞

インタビュー

春高バレー

キャプテン 神谷竜之介

インターハイや国体がなくなつて春高にかけける思いはとも強かったです。無観客だった

ので保護者の皆さんに、いい報告をしたかったのですが、できなくてとても悔しかったです。勝利は後輩たちに託します。しかし、これまでで一番楽しく試合できて良かったです。

顧問 桑名 圭司

コロナの影響が大きい東京開催で、かなり気を遣いました。「試合の場に立つ」ことが当たり前ではない大会。今年も多くの方に支えられ応援していただき、大変感謝しております。1年ぶりの全国大会はとも素晴らしい

らしい場所で、選手も貴重な経験をしました。来年度は県5連覇と念願の春高勝利を目指してまた頑張ります。

保護者 神谷 香里

コロナの影響で全ての大会が中止になる中、春高バレーが開

催され、出場できました。無観客試合でしたが、憧れの舞台オレノコートに立つ夢がかなり、引退できました。春高開催を信じて最後まで頑張った選手、マネージャー、先生、ありがとうございました！



▲2020年11月16日(月) 日本海新聞
バレーボール春高へ

水球部

□第7回全日本ジュニア・U17水球競技選手権大会中国地域予選会(1月30、31日 広島)

▽リーグ戦=鳥取育英7-17山口県選抜 鳥取育英1-9広島県選抜 鳥取育英14-10関西(岡山県)

□第8回中国新人水泳競技大会

(10月17、18日 山口県立西京高校プール)

▽予選リーグ=鳥取育英11-10西京高校(山口県) 鳥取育英19-2広島なぎさ(広島県)▽決勝=鳥取育英16-4関西(岡山県)

水泳部

□JOCジュニアオリンピックカップ春季鳥取県大会(1月24日、米子)

▽100mバタフライ=優勝 古川鈴夏▽200mバタフライ=優勝 古川鈴夏

進路**困難の中で次々決定**

今年度より大学入学共通テストがはじまりましたが、さらにコロナの影響を大きく受けることとなり、受験生にとっては大変な一年となりました。オープンキャンパスが中止になったり、入試内容や受験方法に変更が出たりと困難な状況でありましたが、それぞれが自分の進路を早めに考え、進路決定をしていくことができたように思います。

(進路指導主任 山田史子)

【国公立大学】9名＝富山大学、島根大学（2）、山口大学、高知大学、福知山公立大学、公立鳥取環境大学（3）

【私立大学】46名＝鳥取看護大学（3）、順天堂大学、日本大学、日本体育大学、福岡大学など

【短期大学】19名＝三重短期大学、鳥取短期大学（12）など

【医療系専門学校】12名＝倉吉総合看護、鳥取看護（2）、鳥取市医療看護（8）、YMCA米子医療福祉（3）など

【各種専門学校】39名＝鳥取県理容美容（2）、日本海情報ビジネス（6）、鳥取県立産業人材育成センター米子校など

【就職】▽公務員4名＝鳥取県東部広域行政管理組合消防職・自衛隊（3）▽民間企業20名＝エスパック・大山乳業・チュウブなど



共通テスト校長激励

母校からの便り

□中国新人水球8年ぶりV

監督 小原 裕司

選手たちは、約1年ぶりに公式試合ができる喜びを感じながら、のびのびとプレーしてくれました。その結果、7年ぶりに優勝することができました。無観客で開催されたため、静かな優勝の瞬間でしたが、選手たちは全力で戦ってくれました。

キャプテン 北中 佑介

7年ぶりの優勝でとてもうれしい結果でした。しかし、課題も多く残りました。これからの練習でさらに上を目指して頑張ります。

□全日本ジュニア（U17）水球中国予選準V

監督 小原 裕司

初戦の山口県選抜に敗れたものの、選手たちは最後まであきらめず戦ってくれました。結果は準優勝でしたが、夏に

向け課題の見つかった大会となりました。

キャプテン 北中 佑介

今年度最後の大会を優勝で終われなかったことは、とても悔いが残りますが、多くの課題が分かる戦いとなり、これからの練習の励みとなります。

トピックス

□eスポーツ全国大会出場

ネット環境が様々な分野で急速に発展していく中、eスポーツの世界でもeスポーツという分

野が急速に盛り上がりつつあります。本校2年生の川原那央君、佐古真乃亮君、佐古悟乃亮君の3名は「eスポーツ ウイニングイレブン部門」において中国

鳥取育英高チーム全国へ

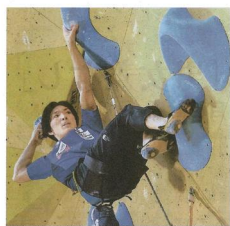
鳥取育英高等学校は、中国新人水球8年ぶりV、全日本ジュニア（U17）水球中国予選準V、eスポーツ全国大会出場と、今年度の大会を優勝で終われなかったことは、とても悔いが残りますが、多くの課題が分かる戦いとなり、これからの練習の励みとなります。

▲2020年12月18日（金）日本海新聞

高田知亮さん2冠！

スポーツクライミング H25卒

スポーツクライミングの国内トップ選手が集まって昨年10月11日、愛媛県西条市で開かれた特別大会で、男子の高田知亮選手（鳥取県協会）がボルダリングとリード両方を制した。東京五輪代表から強豪を抑えての堂々の2冠。今後の益々の活躍が期待されます。

リードは圧巻の登り

「運の要素大きい」成長期す

▲2020年11月24日（火）日本海新聞

大会で見事優勝し、昨年度に続き2回目の全国大会に出場しました。結果は昨年度同様8位。高校生活最後となる来年度は全国優勝を狙っています。

北栄町長へ表敬訪問したり、ローソンで販売の手伝いを行うなど、学校生活ではできない体験や学びがありました。

鳥取中央育英高校が行っている地域探求の時間の中で、生徒8人と大山乳業農協が共同でイチゴのシフォンケーキの商品開発をしました。

□大山乳業と商品開発

同窓会事務局から

事務局に2月中旬、S32年3年A組卒、田中鍛(たなか きたえ)さんからお便りが届きました。本人のご許可を得て、紹介させていただきます。

いつも同窓会報を楽しみに読ませてもらっています。この度は『晩登塾』の歩みとその記憶の冊子を送付いただき、ありがとうございます。15ページの「豊田収先生の想い出」を書いた植原鶴雄(昭和8年卒)は、私の

叔父です。

私の知らなかった事も多々あり、大変驚き、感激いたしました。叔父は2007年8月逝去しました。

江古田の晩登塾はS31年夏の久里浜でのインターハイ卓球に出場の折、市橋先生(2003年ご逝去)とメンバー4名と共に泊らせていただいたことがあり、一級下で26ページに記載されている吉良宜彦さんも一緒にいた。

豊田収先生(当時事務次官?)とはS30年の北海道インターハイ出場の折、由良から大阪まで

の車中(先生は上京途中)、市橋先生の紹介で短時間でしたが、吉田幸史先輩(後の大栄町長)と同級生の宇山忠正君と3人でお会いさせていただき、「頑張つて来い」と言われたことを今でも覚えていています。

冊子の中の座談会に同じクラス(村主義三郎さん、1学年後輩)のバスケットをやっていた松井幹雄さんなど、懐かしい人達に感激致しました。

また松本薫さん著『ばんとう山陰初の私立中学校をつくった男』も一氣に読ませていただき、男の心意気と大先輩の偉大

さに心を打たれました。事務局の方々にお礼申し上げます。

(東京都八王子市在住)

田中さんは琴浦町徳万出身。高校卒業後、帝人株式会社入社、42年間分析化学に携わり、定年後はベンチャー企業に20年間勤務。趣味の卓球は継続し、東京都卓球連盟監事。国体東京代表3位入賞、全日本マスターズ選手権大会で昨年、一昨年80代の部で準優勝するなど、元気で活躍しております。

(永代)

同窓会活動協力金寄付者一覧

(令和2年9月30日〜令和3年3月24日)

S20 太田隆光 吉田君枝 伊田美和子 S22 種子真一 S28 中野博保 大久保良顯 川上裕一 S30 大西文子 S31 大嶋清美 岸本俊彦 鈴岡孝太郎 有福上森田秀雄 S32 廣田九徳 田中鍛 渡邊俊子 S33 梅田三喜子 山下博 内海正男 石田裕通 近藤賢 三谷伸一 谷口勝彦 村岡洋次 田中富世 S34 山根弘康 桑田紀代 小橋士郎 岡本政孝 上山寛光 柴垣久美子 前田正彦 小寺春恵 今西玉江 相見楓子 黒川里津子 門脇公雄 前田廣行 佐渡本多津恵 福光正子 福嶋知恵子 森本紀紘 S35 徳岡大勝 山根邦

重 田中聰子 小泉恭一 S36 宮本哲夫 上田征雄 S37 流田正義 大野和子 吉田卓史 S38 紙徳豊 齊藤俊子 馬淵義則 皆野川和恵 木下博夫 足立京子 朝倉直之 中本普己 S39 岡田信吾 大西幸江 横山富士子 橋本壽久 西澤功 杉原憲靖 吉野勇雄 仲野哲也 橋本和男 S40 徳田正 阪本俊二 山口稔 平井隆 S41 伊藤正子 高塚俊蔵 杉山京子 小橋美由紀 小原邦彦 染川磯一 杉信民子 高力賢一 吉田哲夫 山口悠紀子 森田明子 飯田正征 S42 竹本紀穂 高田博正 杉山和恵 S43 吉賀洋二郎 高尾久

美子 磯江美代江 平野聖博 鈴木伸子 福嶋保久 齊藤和夫 S44 宮脇利博 竹中由右子 石賀美知子 竹歳茂機 堀ちづる 福井敏光 濱垣治郎 西本美紀 菊井澄男 佐伯恵美子 山下繁博 井上康裕 岩田典子 稲嶋裕子 竹田博志 仲倉洋子 松下美恵 篠原重義 中信貴美代 S45 長谷川和文 平野宏幸 岡本恒之 近藤茂夫 S46 岡田茂実 引田弘道 前畑宏志 黒田俊一 扇順子 福田恭子 中瀬富子 S47 八幡伸八 黒松悟司 野坂裕一 岸田幸子 井島曉洋 井上泰子 椿千枝美 S48 細川博 岸田寛昭 S49 廣芳洋一 矢田宏人 浪花敏夫 宇田川隆良 飯田綾子 S50 立川一祐 吉村賢一 菅原久宗 S51 本庄克則 S52 川上多津子 竹中哲

喜 綾女淳子 出西善美 S53 澤田光康 井川敦雄 倉繁良文 宍戸靖雄 加藤賢二 西垣育美 牧野幸代 S54 稲毛靖 S56 東有香 松井英樹 伊達浩二 原田昌和 鈴木健一 S57 齋尾紀幸 村岡亜樹 S58 竹内善一 S59 大西浩顯 S60 浅田隆盛 山剛 矢木国夫 S61 松村成喜 西村良樹 黒田美穂子 S62 鳥飼敏博 渋谷徳行 S63 大前直美 手嶋寿征 H1 横山演章 小林秀二 H8 藤田将弘 H10 倉長千尋 H11 秋山佳栄 H12 佐々木裕介 泉竜治 H13 伊藤友子 中原浩之 H15 谷田明日香 H17 徳田哲也 久保謙志 H27 足立由真 山根隆治 西川僚 安谷忠浩 堀尾和宏 R2 諸遊呂偉 坂口佳久 若月順図 卒年不明伊東秀子

活動報告

▽11月1日 同窓会報No.51発行
▽11月28日(土) S46卒 引田弘道氏 愛知学院大学学長就任祝賀会「倉吉シテイホテル」
▽2月1日 『晩登塾』の歩みとその記憶』発行
▽2月9日 令和3年度第1回役員会
▽2月26日 同窓会入会式
▽3月2日 県教育長へ『晩登塾』の歩みとその記憶』発行報告
▽3月23日 令和3年度第2回役員会

編集後記

本号より同窓会報の題字を「晩登会報」に変更した。長い間、同窓会の愛称もなく鳥取中央育英同窓会報としていた。やつと短くて親しみやすい名称になったか。

また、会報を多くの会員に見ていただくよう、インターネット上で検索できる方法も掲載した。会報もアナログからデジタルに幅を広げることも必要と感じる。

ここに、今、こうして元気にして居りますよ、という情報を集めたい。要は、会員各位が投稿しやすいよう窓口を広げた。

(前田)